

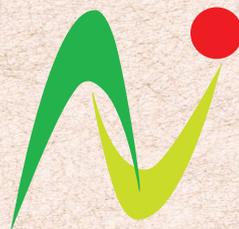
なかがわ

広報

2013. 12



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.99

- 福島町政がスタート 2
- 民生委員児童委員が改選 3
- 第9回那珂川町文化祭 4
- 第32回ゆりがねマラソン大会 5
- 帝京大学経済学部地域経済学科と
相互協力協定を締結 7



第32回ゆりがねマラソン大会 スタート!

広報 Koko Gallery
展示室

第99回

企画展 ゲルト・クナッパ―回顧展

陶芸家ゲルト・クナッパ―氏(1943~2012)は日本文化とドイツ文化の融合した作品を制作し多くのファンを魅了しました。

独創的な作品は時に日本人が制作した以上に日本的な作品に仕上げ、温厚な人柄は多くの日本人の心を惹きつけました。クナッパ―氏は1943年ドイツのヴッパータールに生まれ、15歳頃より陶芸教室や絵画教室で学び、ヨーロッパを中心に研修旅行を続け、後に小アジア、インド、カナリア諸島、西インド諸島を旅行しアメリカ合衆国のニューアーク美術館で作陶を学び、ニューヨークやアラスカ、各都市を訪れ美術活動を行い、1967年に日本に来日し瀬戸の鈴木清々氏に師事しました。翌年から島岡達三氏の援助を受け益子で作陶を修行します。その才能は早くから開花し1971年第1回日本陶芸展で優秀作品賞と文部大臣賞を受賞しました。その後茨城県大子町に移住し廃墟同然だった太郎坂屋敷を購入、家屋を蘇らせ作陶を続けました。1991年にはドイツ連邦共和国功勞勲章、功勞十字章を授章しました。

クナッパ―氏は茨城県大子町に移住し38年の陶芸活動を行い西欧と日本の架け橋として活躍していました。クナッパ―氏が日本を第二の故郷とした理由に「日本の陶芸のすばらしい伝統が自分をいまも引きつけてる」と答えています。ゲルト・クナッパ―氏は昨年11月2日に逝去されました。日本人に親しまれ愛されてきたクナッパ―氏の優美な作品をご堪能ください。

馬頭広重美術館長 市川 信也



「灰釉削文鉢形花入1975」

(ゲルト・クナッパ―ギャラリー蔵)

【会 期】

平成25年11月29日(金)～平成26年1月19日(日)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

平成26年1月11日(土) 午後1時30分～

ウテ 洋子 クネッパ―氏

【開館時間】

午前9時30分より午後5時まで(但し入館は4時30分まで)

【休館日】

12月16日、24日～31日

平成26年1月1日、2日、6日、14日

【入館料】

大人 500円(450円)

高・大学生 300円(270円)

※()は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額



里山・里海へ行こう
With 勇気の翼 イベント

11月24日、埼玉県久喜市で開催された地域の良さを伝えるイベント「里山と里海へ行こう」に出演してきました。アイドルグループJuice=Juiceの皆さんと町のPRをしたよ!



平成24年度 那珂川町観光写真コンテスト

入選「福を求めて」

大野 和三さん(那須烏山市)

撮影場所: 鷺子山上神社

